

## お知らせ

本誌『陽明学』は、十六号を以て市販（有料）という形を終えました。十七号以降は、『二松学舎大学東アジア学術総合研究所陽明学研究部』発行となり、研究所（研究部）の紀要となりました。従いましてそれまでご購入いただきました読者の方々に、継続希望の方は研究所（研究部）まで文書でお申し込み下さい。申込先は本誌奥付参照のこと。

## 編集後記

韓国からの寄稿者の四人にまず感謝したい。金教斌氏、沈慶昊氏、韓睿姫氏の三氏は大変お忙しい中、この特集の趣旨を理解され、当初の依頼通り玉稿を送って下さった。研究文献目録を提供して下さいた金世貞氏は私たちの依頼が年を明けた一月であったにも拘わらず、ほとんどハンゲル表記の原目録の漢字語部分を漢字に変換する労をとって下さった。大部な量であるだけに期限を切ったの私どもの求めに応ずることは大変であったと思う。心から感謝する。

韓国から添付ファイルで送ってもらった

四氏の原稿の文書書体の統一、および研究文献目録の体裁を整える作業で助力して下さいた市橋章男氏にもお礼を申し述べたい。

本号も巻末の「陽明学関係書紹介と短評」「陽明学便り」「学会報告」は疋田啓佑氏に二号より、本号まで十八年間、ご執筆いただいた。とても有難いことであった。しかし、氏の申し出もあり、次号からはこの欄の執筆は若手が分担してでも担うべきであると考えるので、次号編集委員会で氏のご意向に添うよう努めたい。この場を借り、長い間本欄をご執筆いただいた疋田先生に厚くお礼を申し述べる。本当に長い間ありがとうございました。

（小川晴久記）

陽明学（年一回発行）

第十九号

平成十九年三月三十一日

編集責任者

田中正樹

発行責任者

佐藤一樹

発行所

二松学舎大学

東アジア学術総合研究所

陽明学研究部

東京都千代田区三番町六一一六

郵便番号 一〇二一八三三六

電話 〇三―三三六―二三五四